

18歳意識調査

「第46回 -国や社会に対する意識（6カ国調査）-」 報告書

日本財団 2022年3月24日

目次

調査概要	3
自分の国の将来について	5
10年後の自国の競争力について	6
自身について	8
自国について	9
自身の将来や目標について	10
自身と社会の関わりについて	11
新型コロナウイルスパンデミック前後の変化	13
新型コロナウイルスパンデミック前後の変化【日本】	15
自分で決断できる度合い	16
自国のジェンダー意識・結婚・子育て観	17
自国のジェンダー意識・結婚・子育て観【男性】	18
自国のジェンダー意識・結婚・子育て観【女性】	19
進学先、勉強する分野・科目、職業の選択について	20
進学先、勉強する分野・科目、職業の選択について【男性】	21
進学先、勉強する分野・科目、職業の選択について【女性】	22
周囲の人との関わりについて	23
自国で暮らす大人にとって重要な資質	24
政府や企業、メディアの信頼度	25
学校で勉強をする意味として重視してきたもの	26
なりたい職業	27
仕事を選ぶうえで重視するもの	28
回答者プロフィール	29

調査概要「18歳意識調査」 -国や社会に対する意識（6カ国調査） -

エリア 日本・アメリカ・イギリス・中国・韓国・インド

調査対象 各国の17歳～19歳男女

回答数 各国1000名
※下記の割付にて回収

	17歳	18歳	19歳	計
男性	166	167	167	500
女性	166	167	167	500
計	332	334	334	1000

実施期間 2022年1月26日（水）～2月8日（火）

調査手法 インターネット調査

※注記：調査協力者がインターネット利用者に限られるなど、回答者に何らかの偏りが生じる可能性があり、必ずしも各国の17～19歳男女に妥当するものではない。

※注記：本編の図表の数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%とはならない。

※2022/3/25修正：本報告書の公開時点（2022/3/24）において、「印刷業・出版業/マスコミ・メディア関連/情報提供サービス・調査業/広告業」関係者は調査から除外したとの記述がありましたが、誤りでしたので当該記述を削除しました。

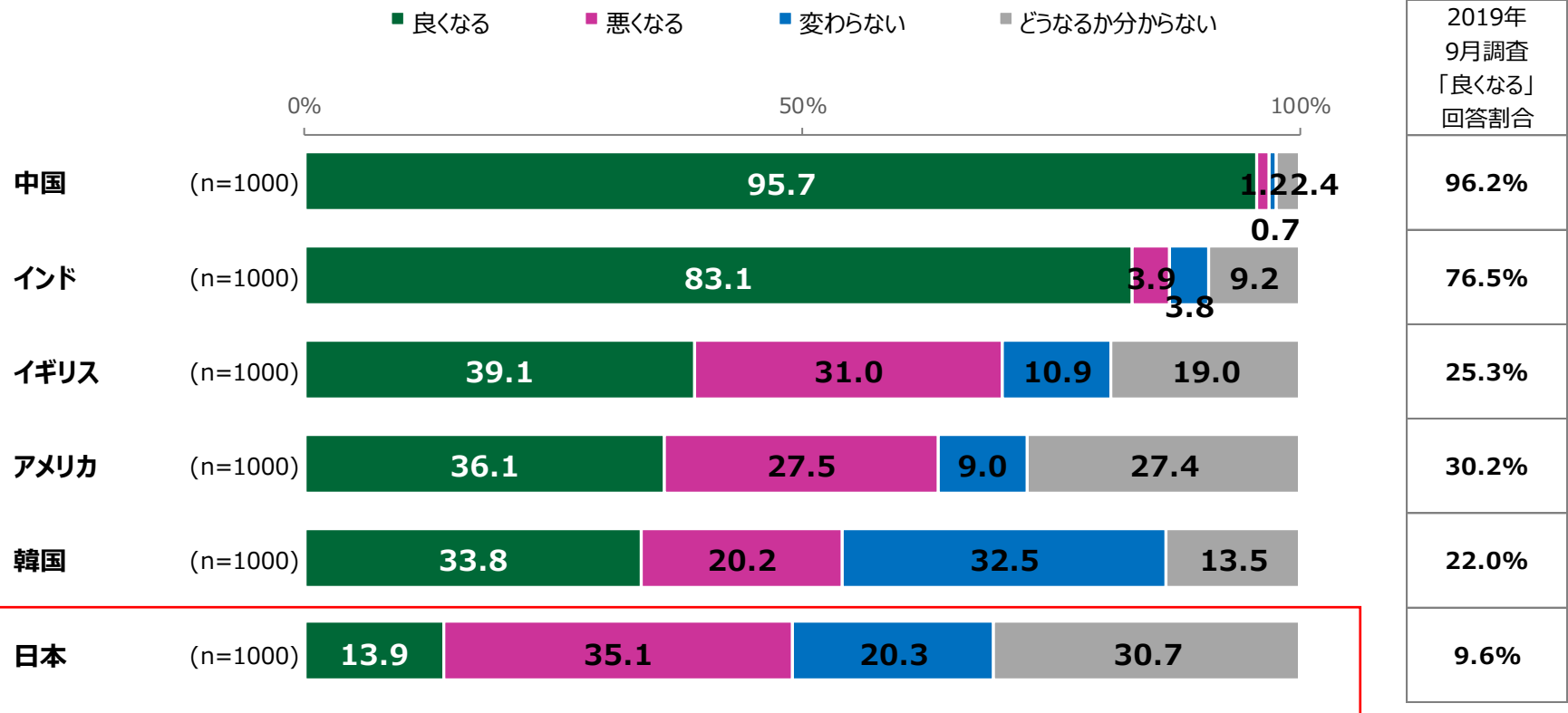
調査結果

自分の国の将来について

自分の国の将来について、日本は「良くなる」が13.9%と、他の国に差をつけて6カ国中最下位となった。また、「悪くなる」が35.1%、「どうなるか分からない」が30.7%で、それぞれ6カ国中最も高いスコア。「良くなる」という回答が最も多いのは中国（95.7%）で、次いでインド（83.1%）が多い。

Q 自分の国の将来についてどう思っていますか。（各国n=1000）

※「良くなる」回答率が高い順に掲載



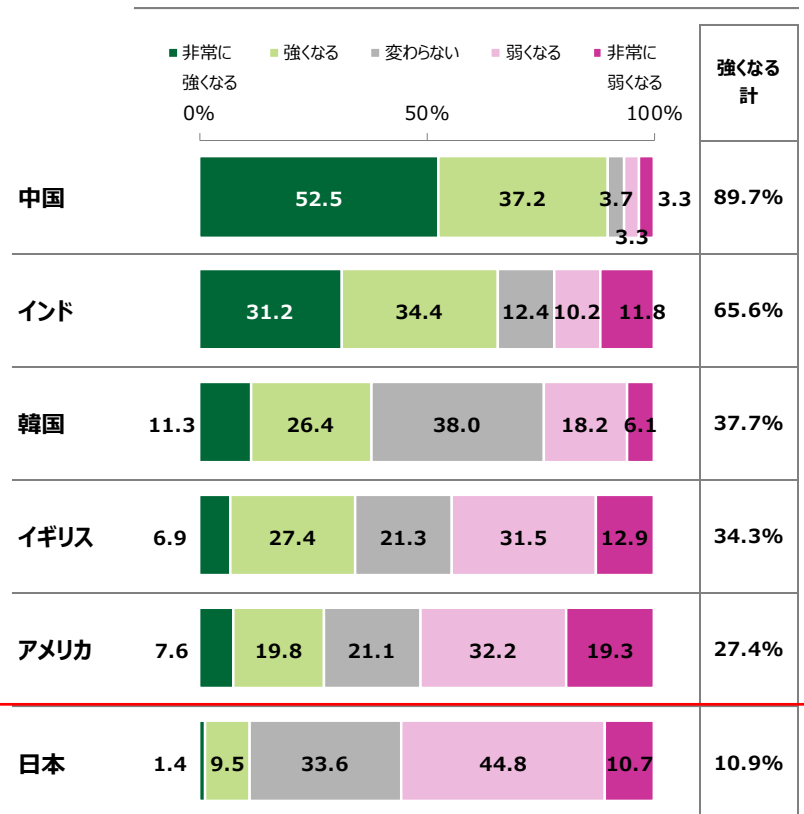
10年後の自国の競争力について 1/2

自国の「経済」の競争力については、日本は「強くなる 計」が10.9%で6カ国中最下位。
 「科学技術」についても日本は「強くなる 計」が45.5%で最下位、「変わらない」が33.6%で最多。
 「経済」「科学技術」どちらについても中国は「強くなる 計」の割合が6カ国中で最も多く、次いでインドが多い。

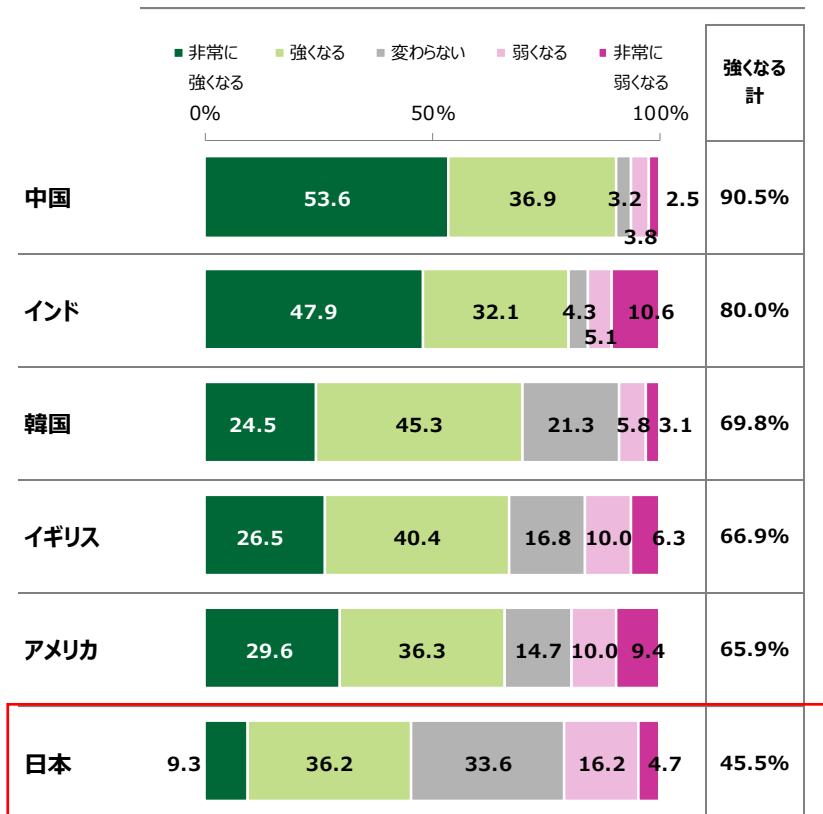
Q 10年後、以下の分野での自国の競争力は、他国と比べてどうなっていると思いますか。（各国n=1000）

※「強くなる 計」（「非常に強くなる」+「強くなる」）の回答率が高い順に掲載

経済



科学技術



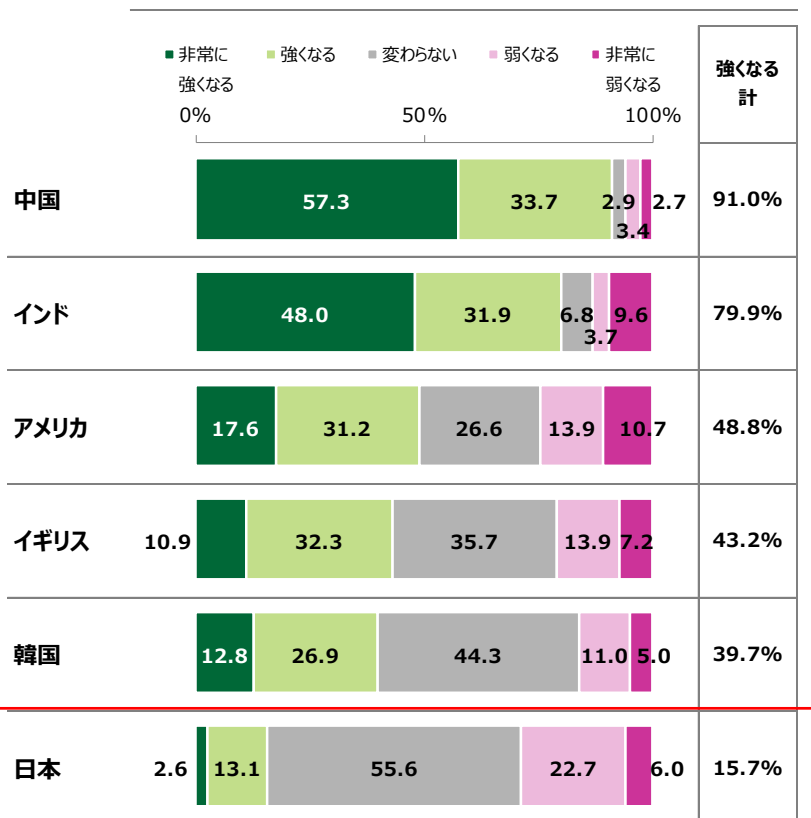
10年後の自国の競争力について 2/2

「軍事・防衛」の競争力についても、日本は「強くなる 計」が15.7%で最下位、「変わらない」が55.6%で最多。
 「文化・芸能」についても「強くなる 計」が29.5%で最下位、「変わらない」が46.5%で最も多い。
 「軍事・防衛」「文化・芸能」についても中国は「強くなる 計」の割合が6カ国中で最も多い。

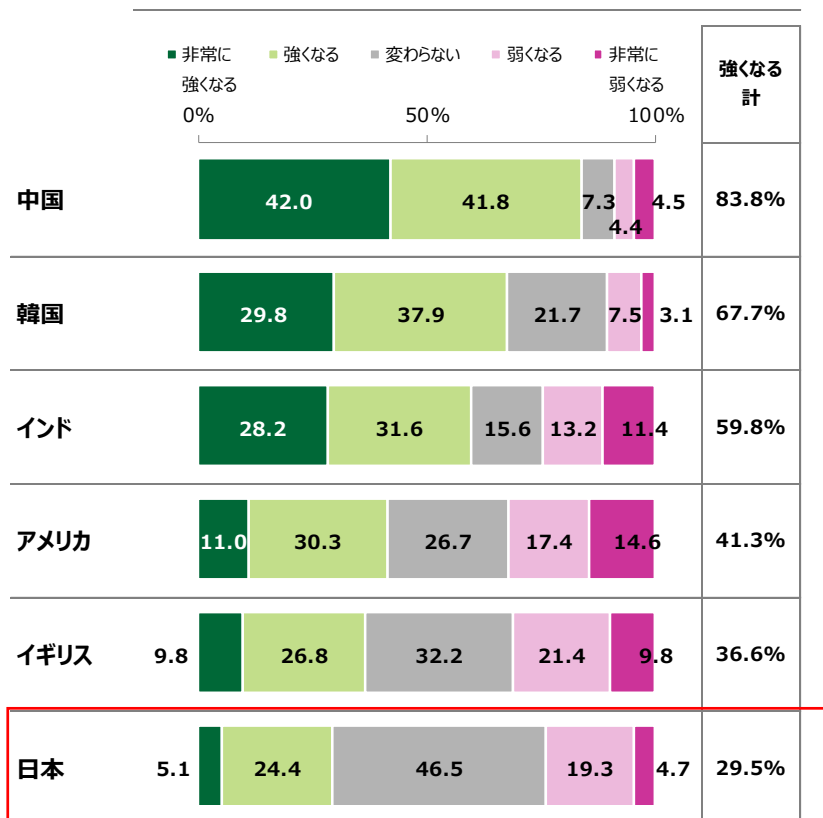
Q 10年後、以下の分野での自国の競争力は、他国と比べてどうなっていると思いますか。（各国n=1000）

※「強くなる 計」（「非常に強くなる」+「強くなる」）の回答率が高い順に掲載

軍事・防衛



文化・芸能



自身について

日本は「自分には人に誇れる個性がある」「自分は他人から必要とされている」「勉強、仕事、趣味など、何か夢中になれることがある」「自分のしていることには、目的や意味がある」「自分の人生には、目標や方向性がある」で6カ国中最下位となった。

また、日本は「日々の生活で不安やゆううつを感じる」が65.3%で、6カ国中最も多い。

Q 以下の項目に同意しますか。（各国n=1000）

※「はい」回答率を掲載

	自分には人に誇れる個性がある		自分は他人から必要とされている		日々の生活が楽しい		日々の生活で不安やゆううつを感じる		勉強、仕事、趣味など、何か夢中になれることがある		自分のしていることには、目的や意味がある		自分の人生には、目標や方向性がある		目標を立て、何かを達成した経験がある	
(単位：%)																
日本	47.9	6位	52.7	6位	67.7	5位	65.3	1位	80.4	6位	63.5	6位	60.6	6位	75.2	5位
アメリカ	74.0		67.7		69.0		58.0		81.5		70.0		75.2		76.8	
イギリス	72.2		64.6		63.4		56.7		82.7		67.8		73.6		73.4	
中国	74.2		77.3	1位	79.5	1位	46.2		82.4		82.6	1位	81.3		78.1	
韓国	68.9		73.7		76.1		49.0		83.9		79.9		74.5		84.5	1位
インド	84.0	1位	59.6		78.4		35.1		88.8	1位	80.1		88.2	1位	79.2	

自国について

日本は「国際社会でリーダーシップを発揮できる」「優れたリーダーがいる」「自分が目標としたい人物がいる」で6カ国中最下位となった。
また、日本は「機会があれば留学や他国で就労を試みたいと思う」で41.7%と、留学や他国での就労意向は最も低い。

Q 以下の項目に同意しますか。（各国n=1000）

※「はい」回答率を掲載

	自国は、 国際社会でリーダー シップを発揮できる (単位：%)	自国には、 優れたリーダーがいる	自国には、 自分が目標としたい 人物がいる	他国と比べて、 自国に満足している	自国と比べて、 他国の方が優れてい ると思うことがある	機会があれば 留学や他国で就労を してみたいと思う
日本	22.8 6位	29.2 6位	49.6 6位	68.7 3位	71.4 3位	41.7 6位
アメリカ	61.5	38.2	65.0	56.2	68.0	60.9
イギリス	56.2	30.5	61.8	62.1	76.3	66.2
中国	86.0 1位	87.4 1位	84.5 1位	87.0 1位	55.5	66.0
韓国	53.3	52.5	60.7	72.3	76.7 1位	71.6 1位
インド	79.7	71.3	81.0	66.1	61.5	70.9

自身の将来や目標について

自身の将来や目標に関する質問で、全ての項目で日本は6カ国中最下位となった。特に「多少のリスクが伴っても、新しいことに沢山挑戦したい」「多少のリスクが伴っても、高い目標を達成したい」は低く、5割を下回る。

Q 以下の項目に同意しますか。（各国n=1000）

※「はい」回答率を掲載

(単位：%)	将来の夢を持っている	自分の将来が楽しみである	社会が今後どのように変化するか楽しみである	多少のリスクが伴っても、新しいことに沢山挑戦したい	多少のリスクが伴っても、高い目標を達成したい	リスクのある挑戦よりも、経済的安定を重視する	リスクのある挑戦よりも、心理的安定を重視する
日本	59.6 6位	57.8 6位	54.0 6位	49.0 6位	44.9 6位	70.4 6位	68.3 6位
アメリカ	82.1	79.0	75.6	77.0	79.2	76.5	74.5
イギリス	78.3	75.7	71.1	78.1	81.4	72.6	71.7
中国	84.7	86.9	85.6	79.8	78.8	78.7 1位	78.1 1位
韓国	81.5	77.6	72.3	68.6	67.2	76.6	76.7
インド	93.3 1位	90.6 1位	88.5 1位	84.4 1位	87.6 1位	74.2	75.9

自身と社会の関わりについて 1/2

自身と社会の関わりについて、以下の全ての項目で日本は6カ国中最下位となった。特に「自分は大人だと思う」「自分の行動で、国や社会を変えられると思う」がそれぞれ3割に満たず、他の国に差をつけて低い。

Q 以下の項目に同意しますか。（各国n=1000）

※「はい」回答率を掲載

(単位：%)	自分は大人だと思 う	自分は責任があ る社会の一員だと思 う	自分の行動で、 国や社会を 変えられると思 う	国や社会に役立 つことをしたいと思 う	慈善活動のため に寄付をしたい	ボランティア活動 に参加したい
日本	27.3 6位	48.4 6位	26.9 6位	61.7 6位	36.2 6位	49.7 6位
アメリカ	85.7	77.1	58.5	73.0	66.7	70.4
イギリス	85.9 1位	79.9	50.6	71.2	69.5	64.2
中国	71.0	77.1	70.9	82.1	78.9	85.3 1位
韓国	46.7	65.7	61.5	75.2	62.4	70.7
インド	83.7	82.8 1位	78.9 1位	92.6 1位	83.7 1位	78.1

自身と社会の関わりについて 2/2

政治や選挙と自身の関わりについての質問も、日本は同意意見が少なく、「政治や選挙、社会問題について、自分の考えを持っている」「政治や選挙、社会問題について、積極的に情報を集めている」「政治や選挙、社会問題について、家族や友人と議論することがある」は6カ国中最下位となった。

「政治や選挙は、自分の生活に影響すると思う」は6カ国中5位。「政治や選挙、社会問題について、関心がある」は6カ国中4位。

Q 以下の項目に同意しますか。（各国n=1000）

※「はい」回答率を掲載

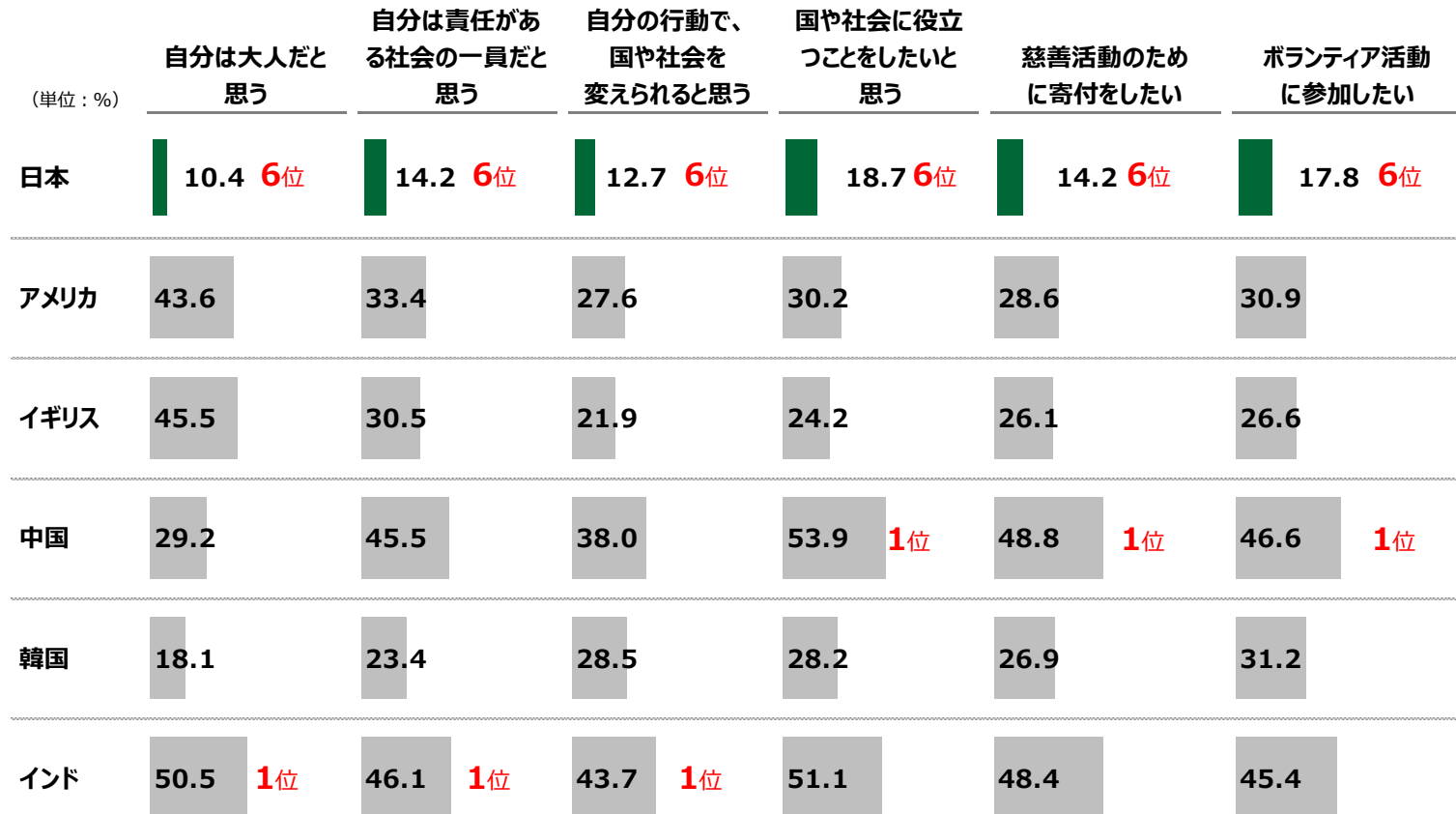
(単位：%)	政治や選挙は、 自分の生活に 影響すると思う		政治や選挙、 社会問題について、 関心がある		政治や選挙、 社会問題について、 自分の考えを持っている		政治や選挙、社会問題に ついて、積極的に情報を 集めている		政治や選挙、社会問題に ついて、家族や友人と 議論することがある	
日本	60.9	5位	50.0	4位	42.1	6位	29.3	6位	34.2	6位
アメリカ	64.0		51.7		68.5		48.5		62.1	
イギリス	61.4		49.7		62.0		42.7		63.9	
中国	70.1	1位	66.1	1位	73.3	1位	63.1	1位	76.6	1位
韓国	69.5		61.3		61.1		46.2		64.5	
インド	50.6		46.1		64.4		52.6		65.2	

新型コロナウイルスパンデミック前後の変化 1/2

新型コロナウイルスパンデミック前後での変化を見ると、日本は「より同意するようになった」の回答率が他国に比べて低い。「より同意するようになった」が多いのはインドや中国。

Q 新型コロナウイルスのパンデミック以前と以後を比べ、以下の項目に同意する程度は、どう変わりましたか。（各国n=1000）

※「より同意するようになった」回答率を掲載



新型コロナウイルスパンデミック前後の変化 2/2

政治や選挙、社会問題への意識についても、新型コロナウイルスパンデミック前後での変化を見ると、日本は「より同意するようになった」の回答率が他国に比べて低い。「より同意するようになった」が多いのは中国。

Q 新型コロナウイルスのパンデミック以前と以後を比べ、以下の項目に同意する程度は、どう変わりましたか。（各国n=1000）

※「より同意するようになった」回答率を掲載

(単位：%)	政治や選挙は、 自分の生活に 影響すると思う	政治や選挙、 社会問題について、 関心がある	政治や選挙、 社会問題について、 自分の考えを持っている	政治や選挙、社会問題に ついて、積極的に情報を 集めている	政治や選挙、社会問題に ついて、家族や友人と 議論することがある
日本	21.6 6位	21.5 6位	17.3 6位	13.8 6位	14.4 6位
アメリカ	33.4	27.1	32.3	25.6	29.8
イギリス	30.9	25.2	24.9	21.0	29.4
中国	37.4 1位	41.1 1位	37.4 1位	40.9 1位	38.1 1位
韓国	29.7	28.2	25.3	22.4	28.4
インド	27.0	23.2	30.8	26.0	33.5

新型コロナウイルスパンデミック前後の変化【日本】

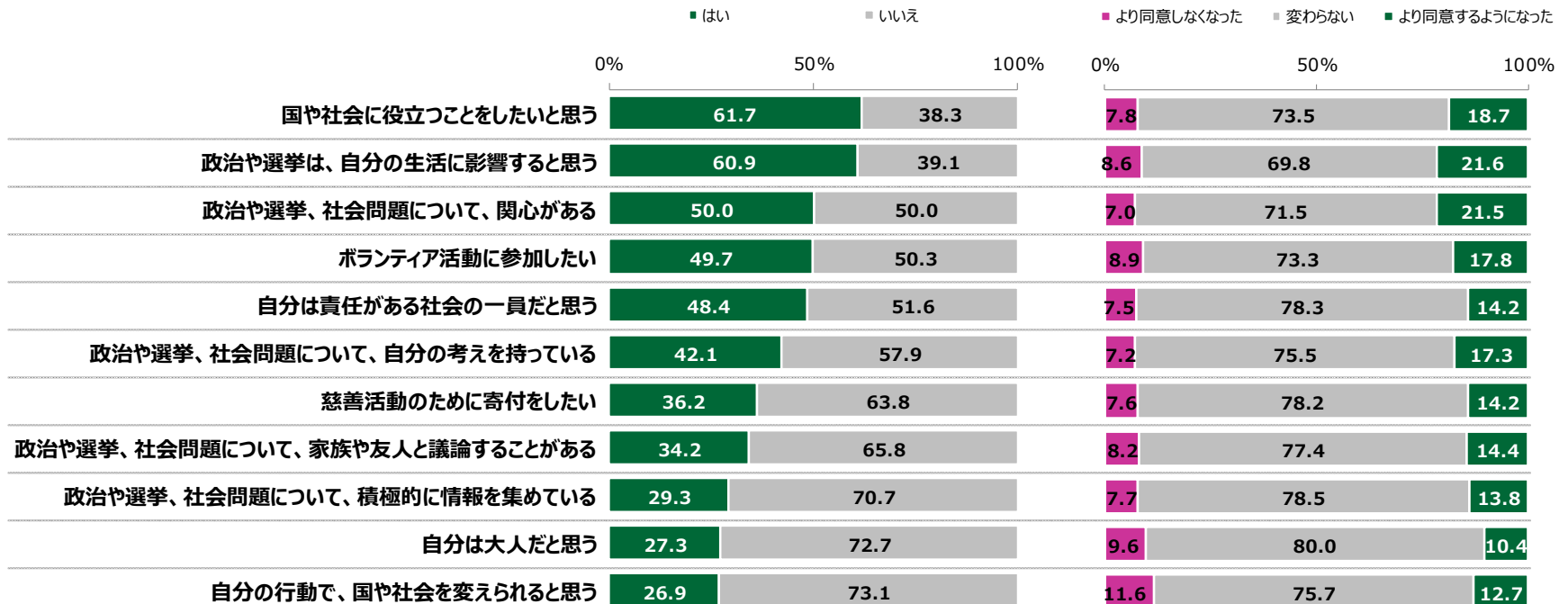
日本の中では「国や社会に役立つことをしたいと思う」（61.7%）、「政治や選挙は、自分の生活に影響すると思う」（60.9%）、「政治や選挙、社会問題について、関心がある」（50.0%）が同意が多い。

また、新型コロナウイルスパンデミック前後の変化は、全ての項目で約7割～8割が「変わらない」と回答。「政治や選挙は、自分の生活に影響すると思う」「政治や選挙、社会問題について、関心がある」は2割以上が「より同意するようになった」と回答し、日本の中では変化の大きかった内容。

Q 以下の項目に同意しますか。
(日本n=1000)

※「はい」回答率が高い順に掲載

Q 新型コロナウイルスのパンデミック以前と以後を比べ、以下の項目に同意する程度は、どう変わりましたか。
(日本n=1000)



自分で決断できる度合い

「仲良くする友達の選択」「恋人・パートナーの選択」「結婚相手の選択」「入学する学校の選択」「自動車やバイクの運転免許を取得するかどうか」で、日本は6カ国中で最も自分で決断できる度合いが高い。その他の項目もそれぞれ2番目に高い。

Q 以下の項目について、家族や他人の干渉を受けず、あなた自身の意思や希望のみによってどの程度判断できますか。
(各国n=1000)

※各回答ごとに以下の値をあてはめ、平均値を算出

「0%：決断できない」=0点／「20%」=20点／「40%」=40点／「60%」=60点／「80%」=80点／「100%：決断できる」=100点

(単位：点)	仲良くする友達の選択	恋人・パートナーの選択	結婚相手の選択	入学する学校の選択	勉強したい分野の選択	就職する会社の選択	医師やカウンセラーにみてもらうかどうか	自動車やバイクの運転免許を取得するかどうか
日本	78.0 1位	75.5 1位	71.8 1位	68.4 1位	73.5 2位	67.5 2位	61.2 2位	69.7 1位
アメリカ	68.8	67.8	66.7	62.1	66.5	64.1	60.8	68.1
イギリス	69.8	67.7	65.0	59.8	66.6	62.8	59.6	65.2
中国	70.3	68.8	67.0	65.6	67.8	65.6	62.5 1位	68.3
韓国	70.6	67.9	63.4	62.6	66.2	61.7	60.7	67.4
インド	73.6	63.9	62.7	66.0	75.8 1位	72.4 1位	60.6	62.7

自国のジェンダー意識・結婚・子育て観

日本は「夫婦に子どもが生まれたら、女性が育児を主に担うことが一般的だ」が6カ国中最も低い一方、「夫婦の両方が働いていることが一般的だ」が最も低く、共働きを一般的とする人は少ない。

Q 以下の項目について、あなたはどの程度同意しますか。（各国n=1000）

※各回答ごとに以下の値をあてはめ、平均値を算出

「0%：同意しない」=0点／「20%」=20点／「40%」=40点／「60%」=60点／「80%」=80点／「100%：同意する」=100点

(単位：点)	自国では、学歴が高く、所得も高い男性は、結婚相手を見つけやすい	自国では、学歴が高く、所得も高い女性は、結婚相手を見つけやすい	男性は男性に、女性は女性に適した職業がある	男性は男性に、女性は女性に適した勉強の分野・科目がある	自国では、夫婦に子どもが生まれたら、女性が育児を主に担うことが一般的だ	自国では、夫の方が妻よりも学歴が高く、所得も高いことが一般的だ	自国では、夫婦の両方が働いていることが一般的だ	自国では、一般的に、結婚して子どもを育てるのが望ましいと言われている	将来結婚するとしたら、法律婚だけでなく、事実婚も選択肢に入ると思う	将来子どもを育てるとしたら、出産だけでなく、養子縁組も選択肢に入ると思う
日本	54.1 4位	45.8 6位	49.3 3位	42.9 3位	46.2 6位	45.2 4位	53.0 6位	53.3 6位	50.6 2位	47.0 5位
アメリカ	52.2	48.3	44.4	42.4	55.3	44.2	63.3	57.2	45.7	60.7
イギリス	50.8	46.4	42.2	41.1	56.6	44.8	65.4 1位	55.5	43.4	56.2
中国	65.4	61.5 1位	63.8 1位	63.8 1位	56.3	56.1	65.4 1位	61.2	54.8 1位	61.0
韓国	55.1	53.4	41.8	39.3	52.0	47.1	55.6	54.7	46.2	45.5
インド	68.3 1位	60.1	58.9	57.2	67.2 1位	59.4 1位	60.7	62.8 1位	49.1	62.1 1位

自国のジェンダー意識・結婚・子育て観【男性】

男性も全体の傾向と大きな違いはなく、日本は「夫婦に子どもが生まれたら、女性が育児を主に担うことが一般的だ」と「夫婦の両方が働いていることが一般的だ」が最下位。

Q 以下の項目について、あなたはどの程度同意しますか。（各国男性n=500）

※各回答ごとに以下の値をあてはめ、平均値を算出

「0%：同意しない」=0点／「20%」=20点／「40%」=40点／「60%」=60点／「80%」=80点／「100%：同意する」=100点

(単位：点)	自国では、学歴が高く、所得も高い男性は、結婚相手を見つけやすい	自国では、学歴が高く、所得も高い女性は、結婚相手を見つけやすい	男性は男性に、女性は女性に適した職業がある	男性は男性に、女性は女性に適した勉強の分野・科目がある	自国では、夫婦に子どもが生まれたら、女性が育児を主に担うことが一般的だ	自国では、夫の方が妻よりも学歴が高く、所得も高いことが一般的だ	自国では、夫婦の両方が働いていることが一般的だ	自国では、一般的に、結婚して子どもを育てるのが望ましいと言われている	将来結婚するとしたら、法律婚だけでなく、事実婚も選択肢に入ると思う	将来子どもを育てるとしたら、出産だけでなく、養子縁組も選択肢に入ると思う
日本	59.0 3位	51.5 4位	56.6 3位	48.1 4位	48.7 6位	49.0 5位	55.2 6位	57.0 5位	52.3 2位	48.2 5位
アメリカ	54.9	50.6	49.5	46.3	56.0	46.8	62.0	59.0	48.2	57.0
イギリス	54.0	51.2	49.7	49.4	57.4	50.8	63.2	57.5	47.6	52.6
中国	68.9 1位	62.7 1位	66.6 1位	66.3 1位	60.7	60.3 1位	66.9 1位	66.3 1位	56.0 1位	58.3
韓国	58.6	59.0	51.8	47.2	53.3	52.2	57.9	55.4	51.1	45.8
インド	68.2	60.8	61.8	59.1	63.9 1位	58.4	58.8	61.1	48.1	58.4 1位

自国のジェンダー意識・結婚・子育て観【女性】

女性も全体の傾向と大きな違いはなく、日本は「夫婦に子どもが生まれたら、女性が育児を主に担うことが一般的だ」と「夫婦の両方が働いていることが一般的だ」が最下位。

Q 以下の項目について、あなたはどの程度同意しますか。（各国女性n=500）

※各回答ごとに以下の値をあてはめ、平均値を算出

「0%：同意しない」=0点／「20%」=20点／「40%」=40点／「60%」=60点／「80%」=80点／「100%：同意する」=100点

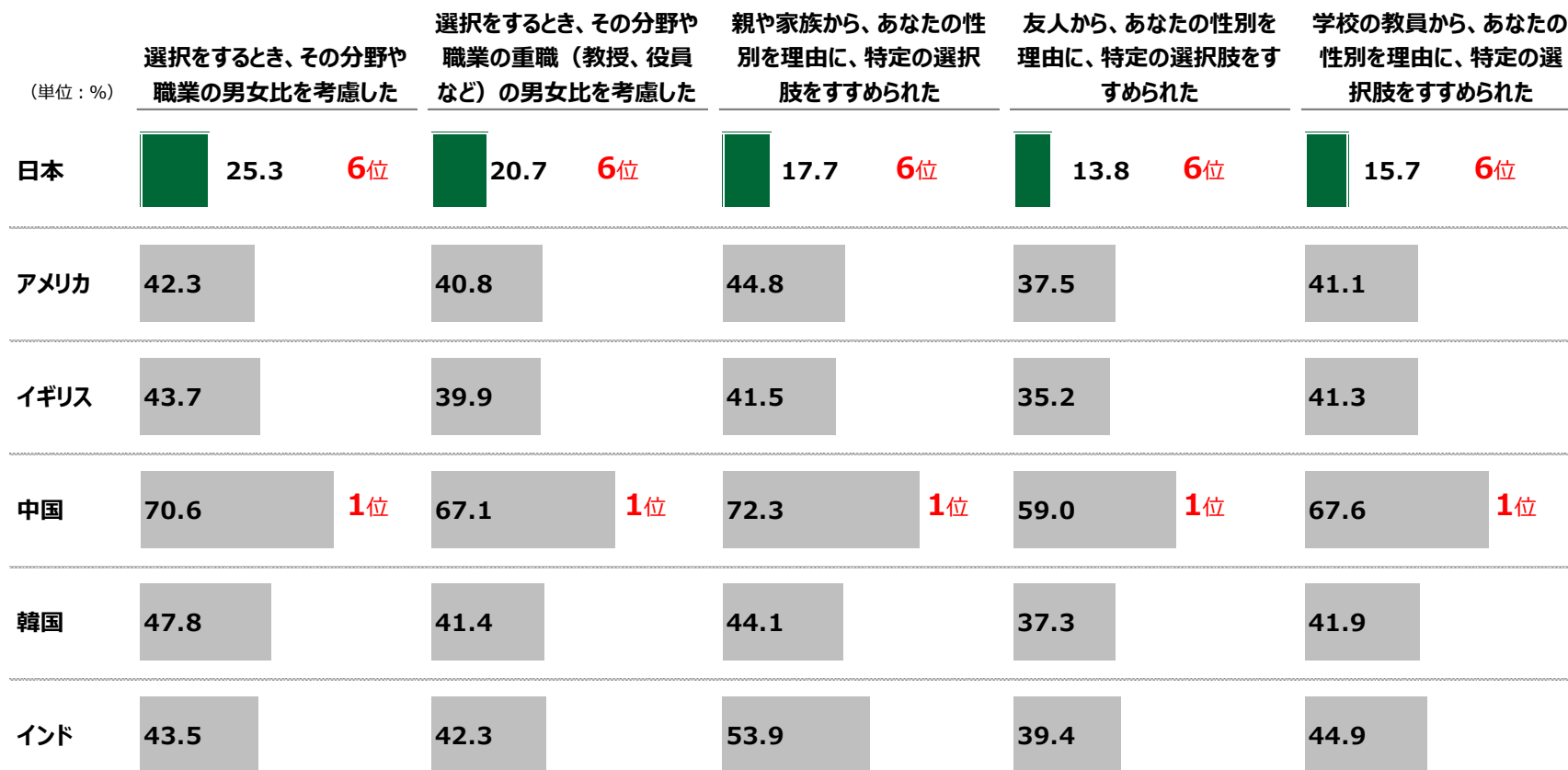
(単位：点)	自国では、学歴が高く、所得も高い男性は、結婚相手を見つけやすい	自国では、学歴が高く、所得も高い女性は、結婚相手を見つけやすい	男性は男性に、女性は女性に適した職業がある	男性は男性に、女性は女性に適した勉強の分野・科目がある	自国では、夫婦に子どもが生まれたら、女性が育児を主に担うことが一般的だ	自国では、夫の方が妻よりも学歴が高く、所得も高いことが一般的だ	自国では、夫婦の両方が働いていることが一般的だ	自国では、一般的に、結婚して子どもを育てるのが望ましいと言われている	将来結婚するとしたら、法律婚だけでなく、事実婚も選択肢に入と思う	将来子どもを育てるとしたら、出産だけでなく、養子縁組も選択肢に入と思う
日本	49.1 5位	40.0 6位	41.9 3位	37.8 4位	43.6 6位	41.3 5位	50.9 6位	49.6 6位	48.9 3位	45.8 5位
アメリカ	49.6	46.0	39.2	38.6	54.6	41.7	64.5	55.4	43.2	64.4
イギリス	47.6	41.6	34.6	32.9	55.7	38.7	67.6 1位	53.5	39.2	59.8
中国	61.9	60.3 1位	61.0 1位	61.3 1位	51.9	51.9	64.0	56.2	53.6 1位	63.7
韓国	51.6	47.8	31.9	31.4	50.7	42.0	53.2	54.0	41.2	45.2
インド	68.5 1位	59.3	56.0	55.4	70.4 1位	60.4 1位	62.5	64.5 1位	50.2	65.8 1位

進学先、勉強する分野・科目、職業の選択について

進学先や勉強する分野・科目、職業の選択について、男女比を考慮したり、自身の性別を理由に特定の選択肢をすすめられる割合は、日本は6カ国中最も低い。

Q 進学先、勉強する分野・科目、職業の選択について、以下の項目を経験したことはありますか。（各国n=1000）

※「はい」回答率を掲載



進学先、勉強する分野・科目、職業の選択について【男性】

男性も全体と傾向は変わらない。

Q 進学先、勉強する分野・科目、職業の選択について、以下の項目を経験したことはありますか。（各国男性n=500）

※「はい」回答率を掲載

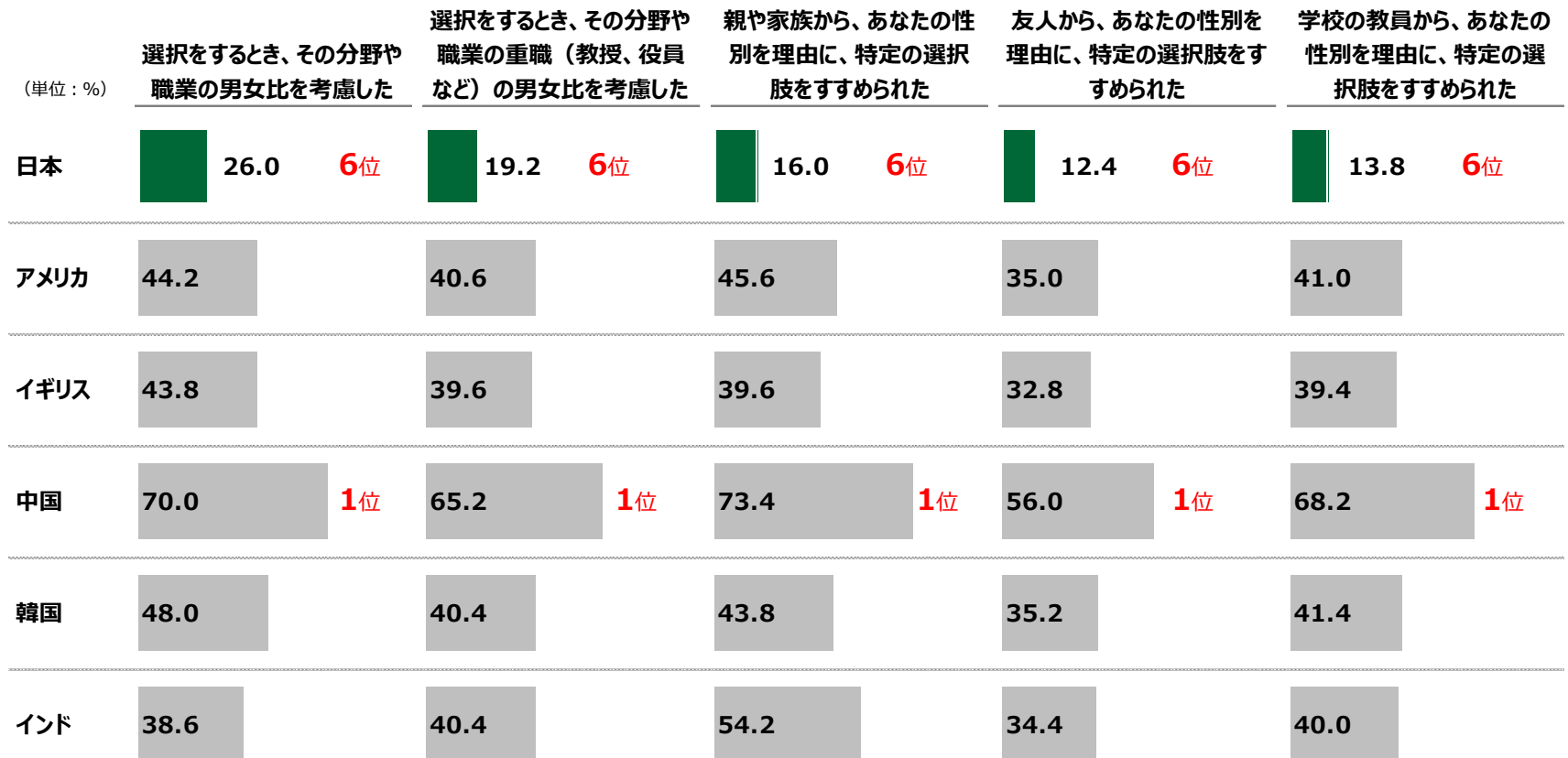
(単位：%)	選択をするとき、その分野や職業の男女比を考慮した	選択をするとき、その分野や職業の重職（教授、役員など）の男女比を考慮した	親や家族から、あなたの性別を理由に、特定の選択肢をすすめられた	友人から、あなたの性別を理由に、特定の選択肢をすすめられた	学校の教員から、あなたの性別を理由に、特定の選択肢をすすめられた
日本	24.6 6位	22.2 6位	19.4 6位	15.2 6位	17.6 6位
アメリカ	40.4	41.0	44.0	40.0	41.2
イギリス	43.6	40.2	43.4	37.6	43.2
中国	71.2 1位	69.0 1位	71.2 1位	62.0 1位	67.0 1位
韓国	47.6	42.4	44.4	39.4	42.4
インド	48.4	44.2	53.6	44.4	49.8

進学先、勉強する分野・科目、職業の選択について【女性】

女性も全体と傾向は変わらない。

Q 進学先、勉強する分野・科目、職業の選択について、以下の項目を経験したことはありますか。（各国女性n=500）

※「はい」回答率を掲載



周囲の人との関わりについて

日本は「自分が他人からどのような評価を受けているか気になる」が6カ国中1位。
 「地域の集会や行事で、近所の人と知り合う機会がある」はイギリスと同率で最も低い。

Q 以下の項目について、あなたはどの程度同意しますか。（各国n=1000）

※各回答ごとに以下の値をあてはめ、平均値を算出

「0%：同意しない」=0点／「20%」=20点／「40%」=40点／「60%」=60点／「80%」=80点／「100%：同意する」=100点

(単位：点)	自分が困ったり悩んだりしたとき、相談できる人がある	自国の社会は、支援や助けが必要なとき、それを求めやすい社会だ	自分が生きていくうえで、他人に迷惑をかけないことは重要だ	自分が他人からどのような評価を受けているか気になる	地域の集会や行事で、近所の人と知り合う機会がある
日本	58.7 3位	45.5 3位	62.9 4位	62.0 1位	37.1 5位
アメリカ	57.0	41.9	58.1	50.4	41.3
イギリス	55.8	45.1	56.9	53.7	37.1 5位
中国	63.8 1位	65.6 1位	67.1	61.8	61.9 1位
韓国	57.9	44.4	65.6	60.9	41.5
インド	63.8 1位	55.0	70.4 1位	56.1	58.0

自国で暮らす大人にとって重要な資質

日本は「他人との違いを恐れず、個性を発揮する」の重要度が、6カ国中最も低い。

Q 以下の項目は、自国で暮らす大人にとって、どの程度重要な資質だと思いますか。（各国n=1000）

※各回答ごとに以下の値をあてはめ、平均値を算出

「0%：重要でない」=0点／「20%」=20点／「40%」=40点／「60%」=60点／「80%」=80点／「100%：重要」=100点

(単位：点)	社会の伝統やルールを順守する		前例にとらわれず、新しく創造的である		他人との衝突を避け、調和を重視する		他人との違いを恐れず、個性を発揮する		リーダーシップを発揮して他者を率いる		リーダーに従い、リーダーを適切に支援する		地域の間人間関係やコミュニティを大切に		地域や国境を越えてグローバルに能力を発揮する		人種、性別、性的指向、障害などの多様性を理解し少数者を尊重する	
	平均値	順位	平均値	順位	平均値	順位	平均値	順位	平均値	順位	平均値	順位	平均値	順位	平均値	順位		
日本	60.2	3位	60.3	4位	61.1	4位	59.4	6位	56.6	5位	58.4	4位	60.0	4位	58.9	3位	67.2	3位
アメリカ	49.1		62.7		58.1		63.8		58.9		50.9		60.1		56.0		66.0	
イギリス	47.8		56.5		57.2		59.6		51.5		46.5		57.1		53.6		65.2	
中国	71.0	1位	70.2	1位	70.6	1位	68.1	1位	68.1	1位	68.7	1位	69.6		66.1	1位	72.2	1位
韓国	57.6		58.6		61.4		61.3		59.5		61.7		59.7		58.8		64.6	
インド	63.2		68.7		68.8		67.3		62.9		62.9		69.7	1位	63.1		71.2	

政府や企業、メディアの信頼度

政府や企業、メディアの信頼度は、中国やインドが高い。反対に、アメリカやイギリスが全体的に低い傾向。

Q 以下の項目を、あなたはどの程度信頼していますか。（各国n=1000）

※各回答ごとに以下の値をあてはめ、平均値を算出

「0%：信頼しない」=0点／「20%」=20点／「40%」=40点／「60%」=60点／「80%」=80点／「100%：信頼する」=100点

(単位：点)	自国の政府・ 地方政府		自国の大企業		自国の中小企 業		自国の非政府 組織・非営利 団体		自国の大学		テレビからの 情報	新聞からの 情報	書籍からの 情報	インターネット 上のウェブサイト からの情報	インターネット 上のSNSか らの情報					
	平均値	順位	平均値	順位	平均値	順位	平均値	順位	平均値	順位	平均値	順位	平均値	順位	平均値	順位				
日本	53.4	3位	53.5	3位	51.0	3位	49.7	4位	54.7	3位	52.2	4位	53.4	3位	54.0	5位	46.3	4位	42.9	4位
アメリカ	42.6		39.3		43.0		48.4		49.5		40.0		43.9		52.4		43.8		39.2	
イギリス	42.9		41.9		44.3		50.0		54.5		45.0		44.2		54.3		44.3		39.0	
中国	74.4	1位	69.3	1位	65.3	1位	65.3	1位	71.1	1位	63.6	1位	66.9		66.2		59.6		59.3	1位
韓国	49.7		51.4		47.4		45.9		51.4		52.9		53.3		58.8		48.7		45.0	
インド	60.6		60.6		57.5		55.2		68.0		59.7		67.5	1位	75.7	1位	60.3	1位	56.7	

学校で勉強をする意味として重視してきたもの

6カ国共通して、「よりよい職業に就職できる」「将来の所得が高くなる」「目指したい目標が見つかる」が上位に挙がる。

日本では「自分の関心が広がる」「よりよい学校に進学できる」も上位に挙がる。また、「特にない」が12.7%と他の国に差をつけて多い。

Q 学校で勉強をする意味として、あなたが最も重視してきたものを3つまで選択してください。（複数回答3つまで）

	日本 (n=1000)		アメリカ (n=1000)		イギリス (n=1000)		中国 (n=1000)		韓国 (n=1000)		インド (n=1000)			
1位	よりよい職業に就職できる	32.3%	1位	将来の所得が高くなる	43.5%	1位	将来の所得が高くなる	44.0%	1位	よりよい職業に就職できる	31.5%	1位	目指したい目標が見つかる	48.6%
2位	自分の関心が広がる	29.3%	2位	目指したい目標が見つかる	37.4%	2位	目指したい目標が見つかる	40.1%	2位	目指したい目標が見つかる	31.4%	2位	将来の所得が高くなる	41.1%
3位	将来の所得が高くなる	27.0%	3位	よりよい職業に就職できる	34.9%	3位	よりよい職業に就職できる	37.7%	3位	国や社会に貢献できるようになる	30.4%	3位	よりよい職業に就職できる	33.3%
4位	よりよい学校に進学できる	21.5%	4位	自分の関心が広がる	27.3%	4位	新しい人と出会う	29.3%	4位	多様な意見・価値観を知ることができる	29.2%	4位	よりよい学校に進学できる	25.0%
5位	目指したい目標が見つかる	21.2%	5位	新しい人と出会う	26.7%	5位	自分の関心が広がる	23.8%	5位	勉強することが義務だから	22.5%	5位	国や社会に貢献できるようになる	29.2%
6位	多様な意見・価値観を知ることができる	20.8%	6位	日々の暮らしに役に立つ	20.2%	6位	日々の暮らしに役に立つ	20.3%	6位	よりよい職業に就職できる	20.9%	6位	自分の関心が広がる	21.5%
7位	勉強することが義務だから	20.7%	7位	家族から勉強するよう言われたから	17.1%	7位	家族から勉強するよう言われたから	16.7%	7位	多様な意見・価値観を知ることができる	20.5%	7位	勉強することが義務だから	20.0%
8位	日々の暮らしに役に立つ	19.9%	8位	よりよい学校に進学できる	14.7%	8位	よりよい学校に進学できる	15.1%	8位	自分の関心が広がる	20.3%	8位	日々の暮らしに役に立つ	19.1%
9位	新しい人と出会う	14.7%	9位	勉強することが義務だから	13.2%	9位	勉強することが義務だから	12.2%	8位	日々の暮らしに役に立つ	20.1%	8位	多様な意見・価値観を知ることができる	17.4%
10位	家族から勉強するよう言われたから	9.4%	10位	多様な意見・価値観を知ることができる	11.0%	10位	国や社会に貢献できるようになる	10.7%	9位	新しい人と出会う	19.9%	9位	新しい人と出会う	15.9%
11位	周りのみんなが勉強していたから	8.7%	11位	国や社会に貢献できるようになる	10.9%	11位	多様な意見・価値観を知ることができる	10.2%	10位	家族から勉強するよう言われたから	14.6%	10位	家族から勉強するよう言われたから	11.7%
12位	国や社会に貢献できるようになる	7.8%	12位	周りのみんなが勉強していたから	8.5%	12位	周りのみんなが勉強していたから	9.4%	11位	周りのみんなが勉強していたから	12.5%	11位	よりよい学校に進学できる	7.3%
	その他	2.5%		その他	4.2%		その他	2.9%	12位	国や社会に貢献できるようになる	9.3%	12位	周りのみんなが勉強していたから	6.5%
	特にない	12.7%		特にない	3.9%		特にない	2.4%		その他	1.4%		その他	1.5%
										特にない	2.8%		特にない	0.8%

なりたい職業

日本では「芸能・音楽・映画」、「デザイン・美術・写真」「医師・看護師」「ソフトウェア技術・開発」「国や自治体の職員（公務員）」がなりたい職業の上位に挙がる。また、「特にない」が16.1%と他の国に差をつけて多い。

Q もしあなたが全ての「職種」や「業種」から仕事を選べるとしたら、どれを選びますか。3つまで選択してください。
(複数回答3つまで)

※各国上位10項目と、「特にない」のスコアを掲載

日本 (n=1000)	アメリカ (n=1000)	イギリス (n=1000)	中国 (n=1000)	韓国 (n=1000)	インド (n=1000)
1位 芸能・音楽・映画 22.8%	1位 デザイン・美術・写真 23.2%	1位 芸能・音楽・映画 17.6%	1位 デザイン・美術・写真 16.4%	1位 芸能・音楽・映画 30.4%	1位 ソフトウェア技術・開発 21.4%
2位 デザイン・美術・写真 12.0%	2位 芸能・音楽・映画 20.8%	2位 デザイン・美術・写真 14.3%	2位 ソフトウェア技術・開発 14.4%	2位 デザイン・美術・写真 24.6%	2位 デザイン・美術・写真 16.9%
3位 医師・看護師 11.2%	3位 医師・看護師 15.4%	3位 医師・看護師 11.7%	3位 教師・講師・保育士 14.2%	3位 医師・看護師 15.5%	3位 芸能・音楽・映画 14.0%
4位 ソフトウェア技術・開発 10.8%	4位 ソフトウェア技術・開発 11.8%	4位 教師・講師・保育士 11.5%	4位 学術研究者 13.5%	4位 教師・講師・保育士 14.9%	4位 銀行・保険・証券 13.8%
5位 国や自治体の職員（公務員） 10.4%	5位 デジタルインフルエンサー（SNS・ブログ） 11.3%	5位 銀行・保険・証券 11.0%	5位 裁判官・弁護士・検察官 13.3%	5位 デジタルインフルエンサー（SNS・ブログ） 13.4%	5位 調査・データ分析 12.9%
6位 教師・講師・保育士 9.3%	6位 教師・講師・保育士 10.5%	6位 不動産 10.2%	5位 芸能・音楽・映画 13.3%	6位 ソフトウェア技術・開発 12.5%	6位 医師・看護師 12.4%
7位 飲食・宿泊 8.7%	7位 不動産 10.2%	7位 ソフトウェア技術・開発 9.5%	7位 国や自治体の職員（公務員） 12.5%	7位 警察・消防・保安 10.8%	7位 会計士・税理士 11.6%
7位 観光 8.7%	8位 獣医師・動物看護師・ブリーダー 9.7%	7位 デジタルインフルエンサー（SNS・ブログ） 9.5%	8位 医師・看護師 10.8%	8位 国や自治体の職員（公務員） 10.7%	8位 軍人（自衛官） 11.0%
9位 化学・医薬品 7.2%	9位 宇宙技術・開発 8.9%	9位 裁判官・弁護士・検察官 9.4%	9位 軍人（自衛官） 10.0%	9位 裁判官・弁護士・検察官 10.2%	9位 デジタルインフルエンサー（SNS・ブログ） 10.9%
9位 デジタルインフルエンサー（SNS・ブログ） 7.2%	10位 裁判官・弁護士・検察官 8.5%	10位 飲食・宿泊 9.2%	10位 設計・建築・建設 9.4%	10位 飲食・宿泊 9.2%	10位 国や自治体の職員（公務員） 10.4%
特にない 16.1%	特にない 4.6%	特にない 2.3%	特にない 0.5%	特にない 3.5%	特にない 0.8%

回答者プロフィール

■ 職業

(%)

		高校生	大学生	就業者（会社員・団体職員・公務員・フリーランスなど）	無職	その他
日本	(n=1000)	59.5	30.4	4.1	2.7	3.3
アメリカ	(n=1000)	48.3	24.3	14.3	11.0	2.1
イギリス	(n=1000)	33.2	33.0	18.4	8.3	7.1
中国	(n=1000)	49.1	45.3	3.9	0.8	0.9
韓国	(n=1000)	60.3	30.5	3.0	4.1	2.1
インド	(n=1000)	36.5	53.4	5.2	2.0	2.9